

御代田町舗装長寿命化修繕計画

御代田町 建設水道課 建設係

【計画の目的】

御代田町では、約224kmの道路を管理しており、その8割以上の約196kmが舗装されています。

舗装は、供用開始後、車両交通や経年劣化等により損傷していきます。

安全で快適な道路とするには、この膨大な延長の舗装について適切な時期に適切な修繕を行っていくべきではありますが、財政上の理由から維持管理費に十分な予算を当てることができず、舗装の破損が目立っています。

舗装の破損は、車両走行の悪化及び飛び石や水撥ねによる歩行者への二次被害が及ぶ可能性もあります。

このような状況で、舗装が原因となる事故を予防し、計画的な維持管理を進めていくべく舗装長寿命化修繕計画を策定しました。

〈計画対象道路〉

御代田町が管理する道路の中でも、交通量が多い幹線道路を対象に計画を策定します。

「かりん道路」など「道路ストック総点検」で舗装点検を実施した路線延長78kmを対象とします。

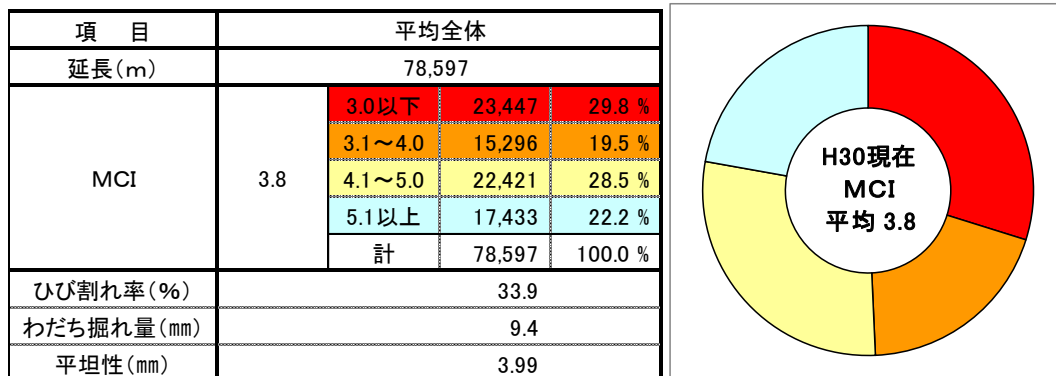
限られた予算、人材等のもと、合理的な修繕を効率的に実施するために舗装の優先度を設定します。優先順位は、損傷状態のみならず、道路の重要度や道路利用状況等を勘案し判断します。

この修繕計画は、点検による舗装の損傷状態と、道路改良工事や水道事業等による舗装復旧工事の実施等の状況により見直しを行います。

【舗装の現状】

点検結果から、全体平均 MCI は 3.8 となり、「修繕が必要なレベル」と判断されました。

その中でも、特に状態が悪く「早急に修繕が必要」とされる MCI が 3 以下の延長は約 23 km（全体の約 30%）存在し、計画的補修が必要となります。



※MCI とは舗装の損傷状態に応じて算出される数字であり、数値が小さいほど損傷が進行している状態となります。（下表が管理水準の目安となります。）

MCI	管理水準
5.1以上	望ましい管理水準
4.1～5.0	修繕を行うことが望ましい
3.1～4.0	修繕が必要
3.0以下	早急に修繕が必要

第34回 建設省技術研究会報告 より

【管理水準設定】

点検により、御代田町の幹線道路における舗装管理状態は「補修が必要」な水準であることが判明しました。

そこで、今回計画を策定する路線について、路線の置かれている重要度に合わせた管理状態としました。

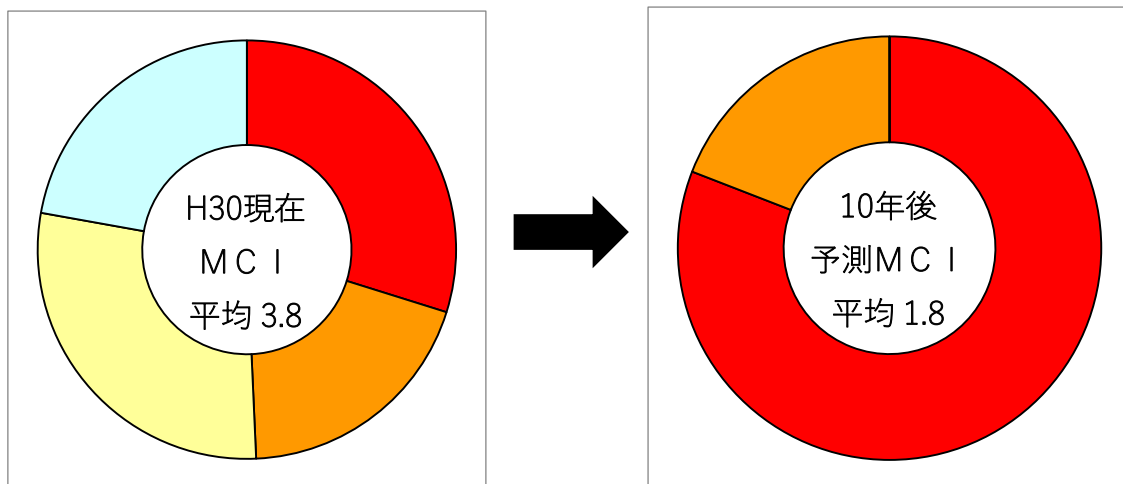
なお、この水準は、今後の検証により再検討します。

グループ	延長(m)	分類	目標とする MCI管理水準(案)	H30時 平均MCI	10年後 予測MCI
1 最重要路線	12,298	B	平均3.5以上	3.8	1.3
2 重要路線	66,299	C	平均3.0以上	3.8	1.9
全体	78,597		全体平均3.0以上	3.8	1.8

【劣化予測】

舗装の劣化予測を行い、10年後における舗装状態を予測しました。その結果、10年後には8割以上の道路においてMCIが3以下になることが予測されました。このような状態にならないためにも、計画的補修が必要となります。

項目	H30年度現在 全体・平均		10年後予測 全体・平均	
	MCI	3.8	3.0以下 23,447m 3.1～4.0 15,296m 4.1～5.0 22,421m 5.1以上 17,433m	1.8
ひび割れ率(%)	33.9		74.7	
わだち掘れ量(mm)	9.4		14.2	
平坦性σ(mm)	3.99		4.90	



【計画推進】

道路舗装の効率的な維持修繕の推進として、限られた予算及び人材等のもと、P（計画）D（工事）C（検証）A（検討）のサイクルに基づき、予防保全型維持管理を持続的に回していくことが重要となります。

今回策定した管理目標や補修規模などを検証・見直ししながら維持修繕を実施することで、効率的で効果的な事業の推進につながると考えています。